

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福島県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	福島県郡山市立芳賀小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	4	3	3	4	4	2	25	33
児童数	133	112	112	120	125	130	2	734	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身につけるための個に応じた指導法の研究

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2学年・算数 本県で実施されている少人数学級(30人学級)における一斉指導の中での個に応じた指導はどうあるべきかという課題に応えるため。 ・ 3～6学年・算数 少人数指導の効果的な指導方法・指導体制はどうあればよいかという課題に応え、個人差の出る教科、学年であることを配慮し、少人数指導により確かな学力を身につけさせるため。

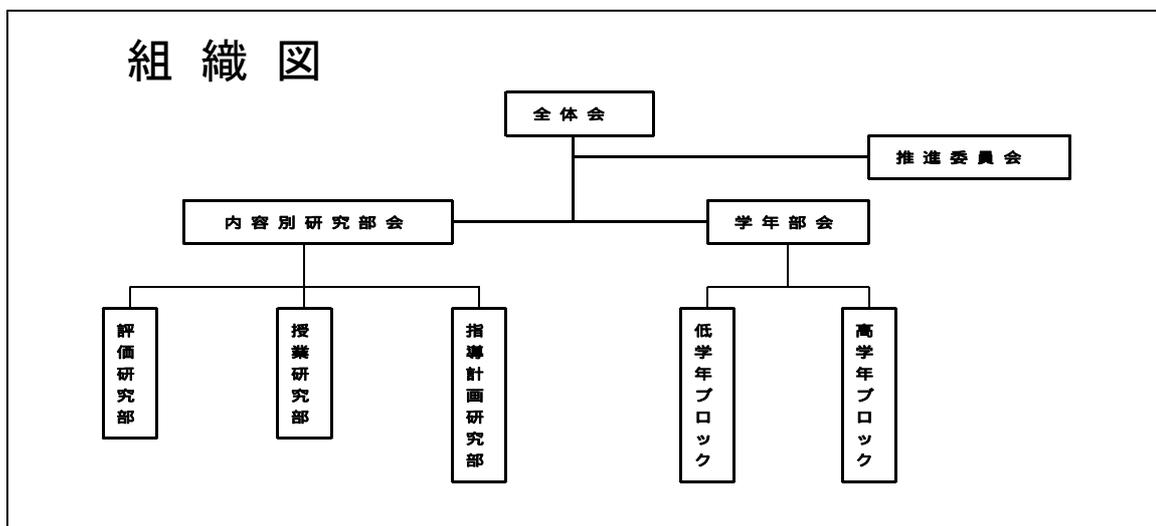
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけるための個に応じた指導法の研究 【‘すき’‘分かる’算数科の授業の創造】</p> <p>研究の見通し 個に応じた指導、少人数指導の研究</p> <p>(1) 学年の系統性を大切に児童の実態把握(意識・学力)</p> <p>(2) 指導と評価の一体化のための単元指導評価計画の作成</p> <p>(3) 単元指導評価計画に基づく授業研究</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 児童の実態把握 アンケートの実施分析・活用 学力診断テストの実施分析・活用 児童の実態把握 ・個人カルテの作成 ・レディネス、事前、単位時間の評価テストの実施と活用</p> <p>(2) 基礎・基本を確実に身につけさせる 学習指導過程の工夫・改善 基礎学力向上プランの再構築</p> <p>(3) 個に応じた指導を工夫する 個に応じた習熟・発展の指導、援助の工夫 学習形態の工夫 学習カードや学習プリントの作成</p>
--------	---

	<p>算数コーナーの設置・活用 (4) 指導と評価の一体化を図る 指導計画の改善 個人カルテや座席表、児童名簿の活用 自己評価カードや座席表、日記等の活用と生かし方 形成的な評価とフィードバック学習の位置づけを図る</p>
--	--

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけるための個に応じた指導法の研究 【‘分かって、生かせる’喜びをもてる算数科の授業の創造】</p> <p>研究の見通し 授業研究を中心とした実践に基づく指導の在り方の追求</p> <p>(1) 1年次の課題をふまえた児童の実態把握 (2) 補充、発展指導と基礎・基本の内容を明確にした単元指導評価計画の作成 (3) 単元指導評価計画に基づく個に応じた指導と少人数指導の在り方 (4) 指導に生かせる評価法の追求</p> <p>研究の内容・方法 ・平成15年度研究内容・方法の深化、充実を図る。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 個人カルテ・座席表・児童名簿の作成によって、児童個々のつまづきが分かり、フォローアップの充実を図ることができた。
- ・ 学習内容の把握のために、課題の提示にプロジェクターや具体物を取り入れることで、興味・関心を持ちながら学習を進めることができ、終末の理解度の評価も確実になった。
- ・ 学習過程に習熟の時間を確保することで、その時間の学習内容が確認でき、達成度が高まった。
- ・ 児童の希望も考慮した習熟度的なコース別指導の結果、児童は、自分の習熟度や作業スピードに合わせて安定した気持ちで取り組み、個々の関心・意欲を高めながら児童にとって満足感のある学習指導が展開できた。
- ・ 等質グループの少人数指導によって、一人一人の子の活躍できる場面が増えた。
- ・ 単元の指導計画作成時に基礎・基本、評価規準、発展的な指導事項、補充的な指導事項を明確にして進めた結果、単元全体における重点事項、発展・系統が分かり、1時間ごとのねらいの達成を図る授業実践が展開できた。

2. 今後の課題

- ・ 児童の実態把握のために調査する際は、調査の意図・調査結果の授業への生かし方を明確にする必要がある。
- ・ できる喜び、分かる楽しさを味わわせる面では、大きな成果を得ることができたが、生かせる喜びを味わわせる指導の面では、さらなる工夫が必要である。
- ・ 単元末の評価テストの結果では、中位児以上の子は伸びているが、下位児はあまり伸びていなかった。つまずきのある子への補足的な指導をさらに充実させていきたい。
- ・ 早く課題が解決できた児童への発展的な指導内容をさらに検討していきたい。
- ・ 児童一人一人の評価の仕方は、個に応じた指導に具体的に生かせる内容のものに充実させていく必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

児童の学力の実態を把握するために

- ・ 算数科の学習に対する意識調査（年2回5月・2月）
- ・ 定期的な学力検査の実施（標準学力検査NRTの年1回の実施・全学年・国語科、算数科・2月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 公開授業研究会（中間発表）
日時：平成16年1月30日〔金〕
場所：郡山市立芳賀小学校
テーマ：【確かな学力を身につけさせるための個に応じた指導法の研究】
対象：県中域内小・中学校
- ・ 公開授業研究会（本発表）
日時：平成16年11月12日〔金〕
場所：郡山市立芳賀小学校
テーマ：【確かな学力を身につけさせるための個に応じた指導法の研究】
対象：県中域内小・中学校
- ・ ホームページに研究の概要を掲載し、情報として発信している。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無